



様式 C-15、F-15、Z-15、CK-15（共通）【作成上の注意】

研究代表者が、科研費により購入した設備備品の寄付の延期を希望する場合に作成し、所属する研究機関を通じて日本学術振興会に1部提出すること。

●作成・提出にあたっては、以下について留意すること。

- ・ A4判（縦長）印刷を行うこと。
- ・ 押印（または署名）をすること。研究代表者の印は、印肉を使用して押印するものとする。
- ・ 本様式の作成時に誤記入があった場合には、改めて作成すること（訂正印及び修正液等の使用は認めない。）。

1. 「研究代表者所属研究機関・部局・職・氏名」欄には、研究代表者の所属する研究機関名、部局名、職名を省略せずに記入すること（部局のない研究機関の場合は、部局名は不要）。
2. 「機関番号」欄には、研究代表者が所属する研究機関の機関番号（5桁）を記入すること。
3. 「研究者番号」欄には、e-Radに登録されている研究者番号（8桁）を記入すること。「特別研究員奨励費」の場合で研究者番号を有しない場合は空欄で構わない。
4. 「1. 研究種目名」欄には、交付決定通知書に記載の研究種目名を記入すること。
5. 「2. 課題番号」欄には、交付決定通知書に記載の課題番号を記入すること。
6. 「3. 研究課題名」欄には、「交付申請書」に記載した研究課題名を記入すること。
7. 「4. 研究期間」欄には、研究期間（補助事業期間）を記入すること（基金分又は一部基金分については、本様式提出以前に延長が認められている場合はその補助事業期間）。
8. 「5. 寄付延期を希望する設備備品」欄には、寄付の延期を希望する設備備品の「設備等名」「仕様」「数量」「価格」「納入年月日」を記入すること。
9. 「6. 寄付延期を希望する理由」欄には、寄付の延期を希望する理由をできるだけ具体的に記入すること。
10. 「7. 寄付猶予期間（納入年月日から寄付予定年月日までの期間）」欄には、寄付の延期を希望する期間を記入すること。ただし、研究期間内に寄付を行うこと。「特別研究員奨励費」の場合は特別研究員という研究代表者としての応募資格又は外国人特別研究員という研究分担者としての応募資格を有しなくなるまでに寄付を行うこと。